

櫻守の会

2022年7月号

2022年7月1日(通巻278号)

発行：櫻守の会代表 近藤 茂

〒665-0485 宝塚市栄3-4-10-505

会員数 104名(6月25日現在)

HP：<https://www.sakuramori.net/>

「自治労水週間」を地域住民とともに

三宅 一茂

自治労とは、全国の県庁、市役所、町村役場など地方自治体で働く職員のほか、福祉・医療に携わる民間労働者など地域住民のための公共サービスに関連する組合が結集する労働組合です。その中でも毎年「体験活動」に参加しているのは、阪神間と淡路地域の上下水道局や下水道部など市役所で働く仲間と自治労阪神淡路ブロック共闘会議水道部会(以下「阪淡B水道部会」と言う)がお世話になっています。

自治労では、毎年8月1日～7日を「自治労水週間」として、水辺環境など「水について地域住民とともに考えよう」と今年で38回を数えます。自治労兵庫県本部が「櫻守の会」の体験活動へ最初に参加したのは、2004年8月(「10年の歩み」P54に記載して頂いています)の第21回自治労水週間でした。その前年の2003年8月に「阪淡B水道部会」が第20回自治労水週間の取り組みとして、私の中学校の恩師でもある宝塚自然保護協会の足立勲先生を講師に、西宮名塩駅から武田尾駅の国鉄廃線敷きを武庫川V字溪谷のダム建設予定地など見ながら猛暑の中歩きました。宝塚消費者協会からのお声かけにより、当時の長岡一夫会長と伊藤益義事務局長も参加され、エントランス広場で集まり「櫻守の会」のボランティア活動や里山保全活動の森や里山が果たす役割などをお聞きしました。翌年も猛暑の中でしたが、初めて里山保全活動を体験活動させていただき、2004年から継続して、今年もお世話になっています。

もう一つ個人的ですが、櫻守の会の活動に関わらせて頂いたことがあります。ある日、小学校から帰ってきた小学4年の娘が「お父さん、『親子で森づくり体験活動』に行きたい」と、学校で配られていた案内文書(櫻守の会発行)を渡してきました。最初の活動は、『桜坂』あたりの下草(笹)刈りでした。会員の方々から「森を守ることは自然環境や武庫川を含む水辺環境が良くなり、きれいな水ができる」との説明を娘も私も聞き入っていました。娘は最初生い茂っていた笹が最後には無くなった斜面を見て、よほどうれしかったのか。帰る電車の中で「また行こうね」と体験活動に2、3回続けて参加した記憶があります。1997年生まれの娘は、今年25歳になります。

今後とも不定期と土日限定となりますが、「櫻守の会」と「武庫川エコハイク」の活動へ参加し、皆さんとともに汗をかきますので、よろしくお願いします。



2022年3月21日10名の方が活動に参加



櫻守の会員と協同で「焚火厳禁」標識を設置

***** 目次 *****

- P1 序文：「自治労水週間」を地域住民とともに
- P2 2022年6月度活動実績表
- P2～4 活動報告：桜の園(亦楽山荘)、青葉台、ゆずり葉の森、山手台、武庫山の森、
- P4～5 お知らせ・案内：運営委員会報告、廃線跡草刈り、会員消息、武庫川エコハイク
- P5～8 櫻守ひろば：サクラの雑学いろは、会員紹介(2名)、新人技能研修会を受講して、情報掲示板(2件)
- P8 活動予定表

＜ 活 動 実 績 表 ＞

2022年6月度活動実績表

月日	活動地・参加者 ()内は会員外	天候	作業内容	人数
5月26日 (木)	青葉台 9名	曇り時々 晴れ	(青葉台口・陽光広場) 草刈	2
			(キツネの森入口付近) 枯れ松の伐採	7
5月29日 (日)	桜の園 18名	晴れ	(大峰道・索道跡周辺) 植樹・実生ザクラ周辺の環境整備	6
			(どんぐりの道・城ヶ丘下) 枯れ木処理、間伐等斜面の整備	6
			(遠見の道・赤松植樹地手前) シダ刈り、枯れ木・倒木の伐採と処理	6
6月3日 (金)	ゆずり葉の森 13名	晴れ	(ゆずり葉ピーク下り坂) 県施工木製階段の横木改修テスト	2
			(宝塚西高校グラウンド下平) ヤマザクラの間伐	4
			(県宝谷平、西山堰堤への直線路両脇) 雑草の刈り取り	7
6月5日 (日)	武庫山の森 26名	晴れ	新人技能研修会	10
			(北谷堰堤付近) 堰堤内の木の処理と景観改善	8
			(光ガ丘口) 入り口付近の枯コナラと常緑樹の処理	8
6月9日 (木)	桜の園 20名 (1名)	晴れ	(桜坂) 園路脇、斜面の草刈り 刈払い機4台使用	8
			(育樹の丘) 斜面の草刈り、アイビー除去	7
			(遠見の道、城ヶ丘) シロバナウンゼンツツジの植生調査	5
6月15日	桜の園	雨	雨天中止	
6月18日 (土)	武庫山の森 20名	曇り	(塩谷ルート) 中学校下のビューポイントの整備	6
			(武庫山ルート) 簡易堰堤前後のササ刈り	6
			(光ガ丘口) 園路周辺の常緑樹の処理	7
			(育苗地) 草刈りと育苗地内の整理	1
6月21日	山手台	雨	雨天中止	
延べ参加者数				106

＜ 活 動 報 告 ＞

桜の園 (亦楽山荘)

5/29 (日) : 今月度も雨に祟られ13日は活動中止となり、こどもの日(5/5)以来の久しぶりの活動で、3班に分かれ森の整備を行いました。どんぐりの道から城ヶ丘広場にかけての作業班は、浮石の多い急斜面の作業となり、加えて根ごと倒れて蔓が絡まったアラカシの処理に大分苦戦した模様です。遠見の道での作業班は直径30~40cm 枯れコナラ、枯れ松6本と常緑樹数本をすべて大鋸で伐採処理しましたが、チェーンソーがなかったためかなり疲れ切ったようです。育樹の丘での作業班は急斜面ながら夫々自分なりのペースで間伐を進めました。また大峰道索道跡と桜の尾根で植樹・実生の桜たちには施肥を行いました。(坂田 記)



(遠見の道) 老枯れ大木を楔で伐倒



(育樹の丘) 変な虫! と思ったら



(どんぐりの道) 伐採木のつる

6/9 (水) : 本日は刈払い機を総動員 (5 台) して桜坂と育樹の丘周辺の草刈り。育樹の丘では蔓延るアイビーの除去も進めました。刈払い機は交代しながらの作業ではありますが、皆さん大分お疲れの様子。まだ大分残っており次回も継続して作業の予定です。 (坂田 記)



(桜坂) 草刈り①



(桜坂) 草刈り②



(育樹の丘)

抜いたアイビーを堆積場に運搬

シロバナウンゼンツツジの群生地の一つ遠見の道にて、群生範囲と株数を株ごとに印を付け調査した。急斜面に適切な株間隔で 83 株、カウント外の実生の幼木も多く見つかる。周囲はシダが生い茂っていた。他、城ヶ丘に 1 株と途中の道沿いに 3 株をカウントした。城ヶ丘にはオカラノオが一面に広がり蕾を付けていた。一見雑草のように見えるので気を付けて手刈りで周りの草刈りを行った。10 日後位には群れて咲く事を楽しみに下山した。

(大形 記)

青葉台

午後の降水確率が 70% で会員の出足を削がれ、9 名と本年最低の参加者となりました。当日は午前中から蒸し暑く、活動地に到着する前にも大汗を掻く条件で、1 班は 2 名のみで青葉台口から陽光広場一帯に繁茂する雑草の刈り取りを行いました。人手不足で急斜面等刈払い機では困難な箇所の草刈は後日回しとしました。他の 1 班はキツネの森入口付近で前回 (4/27・水) 掛かり木となり、周辺への悪影響がない状態で放置した枯れ松の処理を行った後、近くの斜面で胸高直径 20~30 cm の枯れ松 4 本をチェーンソー、チルホールを駆使して伐採しました。

(加賀野 記)



青葉台口付近・草刈前の状況



小林南大堰堤上斜面の草刈



掛かり木になった枯れ松の枝処理

ゆずり葉の森



県宝谷平の繁茂した雑草を
刈払い機で刈り取り



宝塚西高校グラウンド下平で
密生した実生ヤマザクラの間伐



ゆずり葉ピークからの下り坂
腐食した木製階段の改修テスト

何故か青空の下と日陰で暑さに大差がありました。お陰で日陰でこまめに給水・休憩をとり、熱中症対策を取りながら作業することが出来ました。本日は白瀬川広場から西山堰堤へ向かう直線路両脇と県宝谷平に蔓延る雑草、笹と細竹の刈り取りを刈払い機3台と手鎌で行うとともに、前回(5/10・火)に引き続き宝塚西高校グラウンド下平で実生ヤマザクラ6本の間伐と、サクラの成長を阻害しているネズミモチとクスノキの除伐を行いました。またゆずり葉ピークからキツネの森への下り坂の木製階段のうち、最も腐っていた横木を更新し改修方法をテストしました。(加賀野 記)

山手台 雨天につき中止しました。

武庫山の森

6/5 (日)：夕方から雨予報のなか、一日作業ができ感謝です。1班は新人技能研修会として広場での座学に続き、実地で道具の使い方、安全作業のポイントを学んでいただきました。この経験を活かして、これからも積極的に参加していただけると嬉しいです。またベテラン会員の皆さんも現場でのフォローをお願いします。2班は北谷堰堤付近の整理をしました。堰堤内に茂ったタケやササや低木の処理、以前切った木の整理をして堰堤内を掃除しました。中央ルートの入口にあたり目につきやすい場所でしたので景観も良くなりました。3班は光ガ丘口の整備の継続で、枯コナラを処理した後、入り口付近のササ刈り、常緑樹の処理をして、森に入りやすい環境整備をしました。



枯コナラの伐採処理

6/18 (土)：梅雨入りして蒸し暑いなかでの作業になりました。

1班は中学校下のビューポイントの傷んだベンチの木を入れ替え鉄筋で固定しました。周辺も綺麗にしてゆっくり休めるようにしました。午後からは景観を邪魔している木を剪定しました。2班は簡易堰堤前後のササ刈りをしました。園路を狭めていたササを取り除き歩きやすくなりました。今後は園路外に広がっているササも減らしていく予定です。3班は光ガ丘口の整備の継続で、園路周辺の常緑樹を中心に処理しましたが、ツルが絡まった木が多く完了は次回以降になります。別途育苗地の草取り整理をして綺麗にしました。(横山 記)



ビューポイントのベンチの入れ替え

< お知らせ・案内 >

運営委員会報告 (5月度)

代表 近藤 茂

2022年5月28日(土) 9:50~12:00 ぷらざこむ1

1. 新型コロナウイルス対応・・・現行方針「緊急事態宣言中は活動を休止するが、それ以外の時は活動を行う。」を継続することを確認した。
2. 山手台の活動エリアの拡大・・・地域自治会からの要望により、宝塚市道路管理課が管轄している中川大橋より南側の斜面(山手台東1丁目法面)を整備することになった。アドプト契約締結後に活動に入り、新規区域の整備は当面フェンス際に重点を置く予定。
3. 桜の園のシロバナウンゼンツツジの育成・・・白色の可憐な花をつけるシロバナウンゼンツツジの群落が桜の園に2ヶ所確認されている。まず群落の状況を詳細に確認すると共に、川西市の「虫生川周辺の自然を守る会」の助言を受けながら保護・育成計画を策定する。

4. 秋の自然観察会の日程変更・・・10月1日（土）⇒9月27日（火）に変更。10月1日に開催される西谷フォーラム（テーマ：生物多様性保全活動の仲間―西谷編）に当会から多数が参加するため。会報9月号で再度お知らせする。
5. 環境体験学習支援・・・学校側と日程と実施内容の詳細を詰めている。現時点で各学校とも春の環境体験学習支援は無い見込み。

廃線跡草刈のご案内

運営委員会

本年第2回目の廃線跡草刈を、前回（5月23日）と同様8台の刈払い機を使い、昼食を挟んで午後13時半頃まで下記日程で行います。弁当持参のうえ多数のご参加をお願い致します。

日時：8月1日（月）9:50（親水広場集合）～ 13:30頃

なお、当日朝6時55分頃のNHKの天気予報で、午前中の降水確率が60%以上の場合は、予備日の8月5日（金）に行います。

会員動向

事務局

入会：小石 雅一さん 今後ともよろしくお願ひします。

「武庫川エコハイク」7月度活動予定

エコグループ・武庫川

■ 第183回「武庫川左岸六樋を歩く ― 小林駅から」 一般向き 約9km

今回は武庫平野左岸の用水を賄う六樋を学び武庫川の水の利用について
歴史などを求めてまち歩きをします

日時：7月9日（土） 9時30分

集合場所：阪急今津線「小林駅」改札口広場

★お願ひ：マスク着用で「三密状態」を防止する活動にご協力願ひます

コロナ感染症拡大予防対策で「中止」もあり得ますので最新の情報で確認ください

＊お問合せ：携帯 090-7763-6763（上田）

URL：<http://ecomukogawa.web.fc2.com/>（武庫川エコハイクで検索）

< 櫻 守 ひ ろ ば >

サクラの雑学いろは 第10回 染井吉野の雑学（3）

さくら守太郎

6. 桜の開花日と標本木

毎年春になると各地の気象台より「桜の開花宣言」が行われています。観測の対象となる木を「標本木」と言います。

- ①標本木は何本ある？・・・原則各都道府県に各1本ずつですが、離島の多い沖縄県と面積が広い北海道には複数本あり、全部で58本です。
- ②標本木の品種は？・・・原則「染井吉野」です。染井吉野が育たない沖縄県はカンヒザクラ、北海道の札幌より北はオオヤマザクラです。鹿児島県から札幌まですべて染井吉野なので、サクラ前線の北上の状況が良く分かります。
- ③標本木がある場所？・・・東京の靖国神社、大阪の大阪城、兵庫の王子動物園、京都の二条城などが有名です。でも京都の標本木は2010年当時は京都地方気象台構内にありましたが、ネームバリューのある二条城に変わった様です。（2010年頃は地方気象台構内の所が25もありました。）
- ④標本木は変わる？・・・歳を取って開花が遅くなったら交代するようです。2021年の春、NHKテレビ

で王子動物園の標本木について「周りは咲いているが標本木だけが咲いていないので開花宣言できません。」と言っていました。近いうちに標本木が変更になるかも知れません。

7. 鹿児島県の標本木はカンヒザクラになる？

第7回で休眠打破について書きました。地球温暖化現象が現在の調子で進むと九州南部では染井吉野の休眠打破が上手く行かずに育たなくなってしまう可能性があります。その時、標本木は沖縄県と同じのカンヒザクラになるでしょう。

8. 染井吉野は人口交配で再現できるのか？

- ・答えは「絶対に再現できない！」です。
- ・「染井吉野がどのようにしてできたのか！」を調べるために、昔から多くの学者によって研究されてきました。1957年三島市の国立遺伝学研究所で竹中要博士によってエドヒガンとオオシマザクラの交雑によって、染井吉野に良く似た“天城吉野”が作られました。竹中博士はその他にも染井吉野に似たサクラを多く創出しており、小石川植物園に現在9種類植えられています。
- ・なぜ染井吉野は再現できないのか？ その理由です。親であるエドヒガンもオオシマザクラも野生種のサクラであり、種子で増えています。サクラは自家受粉できないので、世の中に存在している野生種のサクラはすべて異なった遺伝子を持っていることとなります。江戸時代の後期に染井吉野の親となったエドヒガンと同じ遺伝子を持ったエドヒガンは絶対に存在していません、また同じ遺伝子を持ったオオシマザクラも存在していないので、結論として染井吉野は再現できないこととなります。



“陽光”の花：カンヒザクラの遺伝子が入っているため垂れ下がっています

9. 陽光桜は染井吉野の再現研究からの派生品種

- ・愛媛県在住の高岡正明氏が天城吉野とカンヒザクラを交雑させて作出した栽培品種が“陽光”です。1981年に農林水産省の新品種に登録されています。

会員紹介

竹島 尚弘さん

昨年12月に入会しました竹島尚弘（たけしま なおひろ）です。1965年千葉生まれ、神戸出身で、社会人になり宝塚市仁川に居を構えて現在に至ります。近くに甲山（標高309m）があり月に1度は登っています。登山道がいつも整備されており四季の変化を楽しむことができます。仁川に住んで四半世紀、自身の健康増進のためだけでなく何か地域のためになることができないかと考えていた時に櫻守の会の活動を知りました。武田尾の桜を見たいと思い情報を検索して櫻守の会のHPを見つけて興味を持ちました。武庫山で活動されている会員の方からもお話を伺い、入会したいと思っていました。

その後COVID-19の緊急事態宣言、蔓延防止等重点措置が断続的に実施され、次のステップをなかなか踏み出せないうえに、コロナが小康状態となった11月、このままでは年が替わってしまうと思い一念発起して体験参加させていただきました。作業がとても楽しく、いい汗を流すことができました。翌営業日を待ってさっそく入会金を払い込み、晴れて入会させていただきました。

当面は武庫山で月一回程度参加することを考えています。慣れてきましたらほかの活動地にも何かわせていただきたいと思います。これからもよろしく願いいたします。



徳永 健さん

4月に入会した徳永健です。1965年生まれ、昨年10月から宝塚市内在住の会社員です。趣味は散歩、旅行、釣り（海：防波堤が主）、スポーツ観戦、音楽鑑賞です。

転勤を繰り返し、直近の東京での3年間単身赴任の後、大阪市内からここ宝塚にやってきました。長年続いた大都市暮らしが窮屈になり、空気が良くて住みやすい、かつ交通の便が良い場所を探していたところ、ふと15年ほど前に5年間住んでいた宝塚を思い出して再訪した時、懐かしく穏やかな気分を感じ、ここならゆったり暮らせそうだと移住を決めました。実際に朝ゆっくり街を散策していると、なるほど呼吸しやすい、また静けさの中に鳥のさえずりが聞こえている、など自分の思い描いた暮らしを実感でき、今のところ快適に過ごせています。

日課の朝散歩を始め何か月過ぎた正月明けのある日、武庫山森の入口に櫻守の会作成の散策コース図が貼っているのを見て「ああ、ここ入れるんだ！」と初めて知り、早速ワクワクして東口に出るコースを回りました。散策路が小綺麗に整っていて「よー出来てるわ！」と感心しました。後日宝塚広報誌で櫻守の会が武庫山はじめ数キロ圏内にある森を整備管理していることを知り、自分も少しお手伝いしたいという動機で参加しました。原則土日祝参加となりますがよろしく願いいたします。



新人技能研修会を受講して

山下宏明

櫻守の会の新人技能研修会が6月5日の武庫山の活動日に、近藤代表を講師に受講生9名で行われました。驚いたことに受講者は、今までお世話くださったベテラン先輩方ばかりです。何年も前に入会したのに、コロナ禍で機会を逸していたとのこと。昨秋入会した私のようなピカピカ？3名は緊張しました。

まずは近藤代表の手作りレジュメで、伐木の目的や基本を1時間座学。ロープや高枝鋸、チルホールなどを抱えて武庫山ルート入口横の実習地に移動し、切り倒される運命の大木のそばでまず下草刈り。ナナミノキにロープをかけ、受け口を刻み、追い口は私も大鋸で引かせてもらいました。めきめき音を立てて重心通り倒れたナナミノキは、鋸と剪定鋏で難なく解体。ロープの結び方や鋸の引き方については、有難くも先輩方から丁寧に教えていただきました。

午後にチルホールを使って、もう一本伐採。ナタの使い方や道具の手入れなども学び、充実した研修となりました。忘れないよう反芻し、今後活かしたいと思っています。



滑車の使い方を学ぶ

【講師からのコメント】

コロナ禍で2年半ぶりの新人技能研修会になりました。今回の研修会では安全作業の基本となる技術の習得にポイントを置いて、覚えてもらいたいことをすべて盛り込んだつもりです。入会3年目の中堅会員に感想を聞いたところ「ロープや滑車を上手く使うことによって、より安全に作業ができることを確認できてよかった。」と言っていました。皆さん最後まで真剣に研修に取り組んでいただき、ありがとうございました。日常作業で今回の研修内容を生かして欲しいと思っています。

情報掲示板

酒ミュージアムのホームページに「亦楽山荘」が掲載されます

事務局

6月7日に酒ミュージアム（白鹿記念酒造博物館）学芸員の安東氏が亦楽山荘（桜の園）を訪れ、笹部新太郎氏が整備した小屋・石段や石壁を含む園路・水道設備などの遺構のほか、笹部氏が持ち込んだと思われる植物などを詳細に取材されて行きました。

その訪問記を酒ミュージアムの公式ホームページ内の「桜つれづれ」(<https://sake-museum.jp/sakura/>)にコラムとして7月15日から掲載されるとのことです。是非ご覧ください。

花が少なくなる6月に「桜の園」で咲く草花たち

大形百合子

6月9日の桜の園の活動日のこと。遠見の道迄の沿道で見つけた咲いていた花、近々咲きそうな花たち。

もみじの道のイナモリソウ…城が丘への登り坂の山側右手に5センチ位の茎に4,5枚の葉を広げ所々に小さな淡いピンク色の花が咲いていた。アカネ科の多年草。花期は5~6月下旬。よく見るとあちこちに広がっている。踏んでしまいそうな小さな植物なので名札を立てた。

城が丘のオカトラノオ…サクラソウ科の多年草。草丈0.6~1m、葉は長楕円形で先端はとがる。茎の先に15cm前後の総状花序を出し下から開花。花期は6~7月。蕾が立ちあがっていた。城が丘に咲くオカトラノオは見たことが無いので、開花が楽しみだ。



イナモリソウの花



オカトラノオの花
6月下旬にこのように咲く

< 活動予定表 >

月別行事予定表

7月		場所等	8月		場所等
7月3日	日	武庫山の森	8月1日	月	廃線跡草刈り
7月6日	水	桜の園（亦楽山荘）	8月3日	水	桜の園（亦楽山荘）
7月11日	月	ゆずり葉の森	8月5日	金	廃線跡草刈り・予備日
7月14日	木	桜の園（亦楽山荘）	8月7日	日	武庫山の森
7月16日	土	武庫山の森	8月10日	水	ゆずり葉の森
7月19日	火	山手台	8月12日	金	桜の園（亦楽山荘）
7月24日	日	桜の園（亦楽山荘）	8月16日	火	山手台
7月29日	金	青葉台	8月20日	土	武庫山の森
7月30日	土	会報印刷／運営委員会	8月24日	水	青葉台
			8月27日	土	会報印刷／運営委員会
			8月28日	日	桜の園（亦楽山荘）

集合時間：桜の園(亦楽山荘) 親水広場 9時50分、武庫山の森 9時50分、他の3活動地は 9時30分。

天候：当日朝 6時55分 NHK TV 天気予報で、兵庫県南部の午前・午後いずれかでも降水確率 60%以上の時は中止します。

(編集担当：近藤 茂)